

企画展

齋藤拙堂

— 齋藤正和コレクション受贈記念 —

2022
2/19^{SAT}
- 4/17^{SUN}



齋藤拙堂像 池田雲樵筆 安政6年(1859) 部分

開館時間 10時～17時(入館は16時30分まで)

休館日 毎週月曜日

入館料 一般500円[400円]

学生300円(高校生以上)

※「」内は20名様以上の団体料金

〔但し祝日の場合は翌日:3月21日(月)は開館、3月22日(火)は休館〕

主催「公益財団法人石水博物館」後援「津市、津市教育委員会、齋藤拙堂顕彰会」

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18
【TEL】059-227-5677 【FAX】059-213-5789
<http://www.sekisui-museum.or.jp/>



齋藤拙堂（一七九七〜一八六五）は、

江戸時代の末に津を拠点に活躍した漢学者で、津藩校・有造館の第三代督学（校長）としても知られています。

石水博物館では、当館ゆかりの津の豪商・川喜田家とも親しい関係にあった拙堂の作品を幾度も展示してきました。これを機縁として、先年、拙堂の玄孫に当たられる齋藤正和氏から拙堂の遺墨、および関連作品を寄贈、寄託いただきました。

本展は、齋藤正和コレクションの受贈を記念し、拙堂自筆の書画や、著作、交流のあった文人の作品をご紹介します。

展覧会図録、刊行！

津藩を代表する文人、拙堂の生涯を、齋藤正和コレクション等の作品・歴史資料に基づきながらたどることができる、歴史ファン必携の一冊！

記念講演会（聴講無料）

「齋藤拙堂の現代的意義」

講師：齋藤正和氏（齋藤拙堂顕彰会顧問）

日時：3月27日（日）14:00～15:30（13:30 開場）

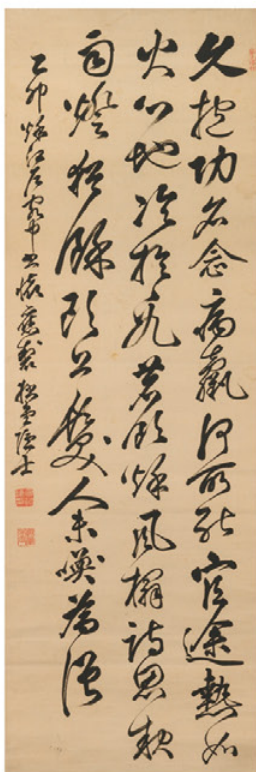
会場：三重県立美術館 講堂（津市大谷町 11）

申込方法：石水博物館まで電話にて（059-227-5677）

定員：申込先着 70 名様



- 1 寄書「蘭秀菊芳」齋藤拙堂題、土井登牙ほか筆 安政4年(1857)
- 2 書「江戸客中書懷詩」 齋藤拙堂筆 安政2年(1855)
- 3 山田長政奉納戦艦図絵馬写 天保10年(1839)
- 4 書「非我而当者吾師也」 齋藤拙堂筆 安政4年(1857)
- 5 水滴 銘「天録」
- 6 硯「龍池」 藤堂高猷下賜



同時開催（第2展示室）所蔵品展《川喜田半泥子の作品と季節の館蔵品》

ギャラリートーク 担当学芸員が展覧会をご案内します。

日時：2月24日（木）、3月19日（土）、4月3日（日）

各日14時より30分程度

参加費：無料（当日の入館料が必要です）

※申し込みは不要。当日14時までに石水博物館受付前へお越しください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、チラシの掲載内容に変更が生じる場合がございます。当館ホームページまたは電話にて、最新の情報をご確認ください。

※ご来館、ご来場の際は、感染症予防対策にご協力ください。

次回展覧会

企画展 川喜田半泥子のやきもの入門—茶陶のいろは—
会期：4月23日（土）～7月3日（日）

展示替休館 4月18日（月）～22日（金）

交通アクセス

- JR・近鉄津駅東口より三重交通バス（久居駅方面行）にて約15分、「青谷口」下車徒歩約8分
- 近鉄久居駅西口より三重交通バス（津駅方面行）にて約10分、「青谷口」下車徒歩約8分
- JR阿漕駅より徒歩約12分
- お車をご利用の方

【津市街から】国道23号線「大倉」交差点を県道776号線（久居方面）へ。JRの踏切を越え、約200m 先岩田池手前の細い道（角に看板あり）を左折、約300m 先左側。（駐車場 15 台）

公益財団法人 石水博物館

〒514-0821 三重県津市垂水3032番地18

【TEL】 059-227-5677 【FAX】 059-213-5789

<http://www.sekisui-museum.or.jp/>

